

寺尾病院外来担当

※令和5年4月より外来担当医師を変更しています

外来診療案内

受付時間 午前 8:30~11:30
午後 13:00~16:30
※土曜午後, 日曜祝日はお休みです

常勤医師外来担当

2023.4~

診療科	内科														整形外科		耳鼻咽喉科		皮膚科	
	内科				呼吸器内科				消化器内科											
	城 誠也	吉村 文長	松本 充博	坂本 理	堀内 雅彦	牛島 健	高松 徹	寺尾 敏子	楠元 聡太	笹本 聖人										
医師名	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM				
月	●		●						●	●			●	●	●	●				
火		●			●			●			●		●	●	●	●				
水	●				●	●					●	●		●	●	●				
木					●					●				●						
金	●		●		第1.3	第2		第2以外	●		●	●		●	●	●				
土		●							●											

非常勤医師外来担当

2023.4~

診療科	内科										耳鼻咽喉科			
	内科		呼吸器内科		循環器内科		小児科							
	一二三 篤子	光武 孝倫	岡本 真一郎	副島 弘文	中村 太志	深堀 優	高城 翔太郎	丸田 宏美	熊大担当医					
医師名	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
月				●		●								
火	●													
水														
木									●	●	●		●	
金			第2.4.5											
土							月1	第2.4						第2.4

TERAO

NEWS



MAP



交通アクセス

- ▶九州産交バス/熊本~山鹿線
寺尾病院前バス停より…徒歩約1分
- ▶JR九州/JR鹿児島本線
植木駅下車…タクシーで約8分
- ▶自家用車/九州自動車道
植木インターより…車で約10分
北熊本スマートインター…車で約8分

お知らせ

寺尾病院SNS一覧。是非一度覗いてみて下さい。



HP



Instagram



LINE

寺尾病院

〒861-5504
熊本県熊本市北区小系山町 759
TEL096-272-0601 FAX096-273-2759

病院機能評価

令和5年2月24日～25日の2日間にわたり、日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審しました。今回は寺尾病院としては2回目の受審でした。病院の職員の方々は、準備に大変なご苦勞、労力を払われたことと思います。

病院機能評価受審の意義について、前回は(※2017年9月発行寺尾病院NEWS)述べたことですが、私なりの意見を述べたいと思います。

病院機能評価を何故、受審する必要があるのか

1. 現状の客観的把握

病院機能についての体系的な審査により、優れている点や改善すべき問題点が評点(A、B、C評価)と評価所見により具体的に示されるので、病院の現状を客観的に把握することができる。

2. 改善すべき問題点が明確になる

評価を受ける準備として、書面審査の調査票を作成し、自己評価等により訪問審査に向けた準備を進めることで、問題点が浮き彫りとなり、医療の質の向上と効果的なサービスの改善につながる。

3. 効果的で具体的な改善

改善すべき問題点には、早急に取り組むべき課題や解決が困難な問題などさまざまであるが、評価を受けることにより実効性のある具体的な改善目標を設定することができる。

4. 職員の自覚と改善意欲の醸成

第三者からの指摘により、問題点について職員間で共通した認識を持つことができ、管理者も各部門の現場も改善意欲が向上して主体的な取り組みが期待できる。

5. 改善の方向の明示

審査結果報告書には問題点が指摘されるとともに、その改善の方向も示され、改善に向けた方策について相談することができる。また、再審査によりその適切性や成果の確認もできると考えています。

振り返って、十数年前に勤務していた病院での受審時は、審査の内容が

- (1) 病院の組織図ができており、指揮系統が明確になっている
- (2) 必要な委員会が設置されており、機能している、議事録等が作成されている
- (3) マニュアル、手順書、同意書などの文書が整備されている

などの形式が整備されているのかを審査するのが主体でしたが、現在は内容に重点を置いたものへ進化しています。

今回の受審結果は「2.1.9 医療関連感染を制御するための活動を実施している」の部分が、再評価を受けることになりました。感染廃棄物の処理の仕方に改善の余地があったということでした。

第三者から指摘されることにより、問題点について共通した認識を持つことができ、その改善の方向も示されたことで、管理者も各部門の現場も改善の必要を認識することができました。

以上のような事が、繰り返しになりますが、病院機能評価を受ける効果と利点だと思います。

今回の病院機能評価受審で一段落、これで終わりではなく、Progressive Continuous Improvement 絶え間ない業務改善への意欲を持ち続けることが大切であると感じました。



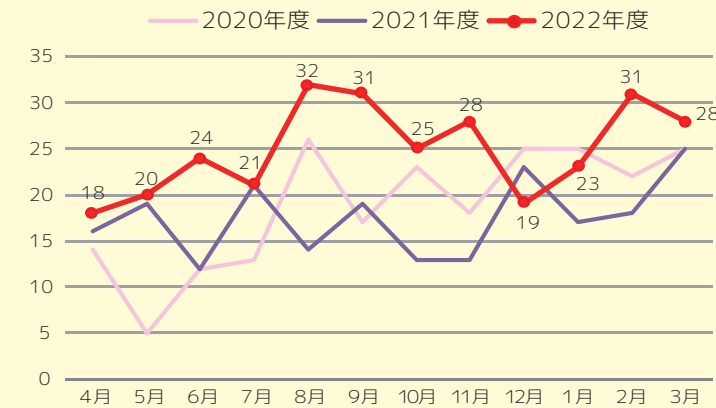
副院長 松本 充博

病院機能評価の様子



グラフでみる寺尾病院

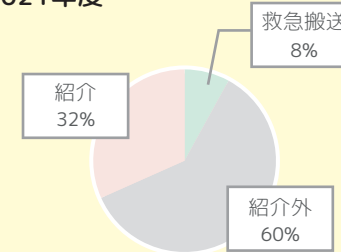
紹介入院患者数



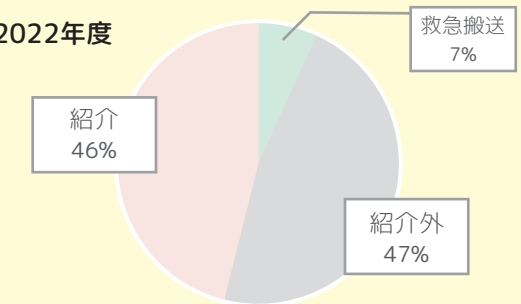
紹介入院患者数		
	合計(名)	月平均
2020年度	225	18.8
2021年度	210	17.5
2022年度	300	25

入院経路割合

2021年度

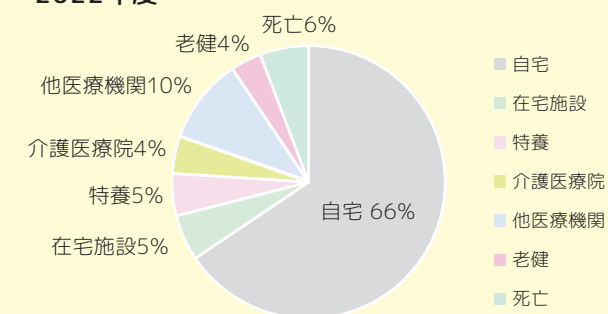


2022年度



退院先機能別割合

2022年度



退院先	件数
自宅	432
在宅施設	36
特養	33
介護医療院	29
他医療機関	67
老健	24
死亡	38
合計	659

※ 昨年度より前方連携(入院転院受け入れ)の専門スタッフを配置し、転院お受け入れに対し全力を尽くしております。当院では皆様からの転院ご紹介に際しまして、基本的に診療時間内であれば当日、または翌日中のご返答を行っており、転院日時等のご相談にも臨機応変にご対応いたします。

- ①できるだけ速く転院紹介し、入院のための病床を利用したい
- ②当日、または翌日中にご返信が必要な場合

上記のようなお悩み以外にも、是非一度お気軽にご相談下さい。

地域医療連携室
理学療法士 野村

